しただの郷学園 三条市立森町小学校 学校便り 令和5年2月24日



森小つ子

令和 4 年度 第 1 2 号



ゆくにこみちによらず

教 育 目 標 「進んでやりぬく、たくましい子ども」

※森町小HPのURLは、https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/morimatisyo/

子どもの成長と地域の発展

校長 山宮 尚

■第3回学校運営協議会を開催しました

2月16日(木)、学校運営協議会の皆様から5時間目の全校の授業を参観していただきました。6学級中、5学級がタブレットを使う場面がある授業でした。その後、協議会を行い、学校からスキー授業と資源物回収の方法について説明した後、2つのグループに分かれて協議を行いました。今後、児童数が減り、家庭数も減っていく中、様々な活動を継続していくにはマンパワー不足が懸念されます。ですから、協議題を「マンパワー、人手不足の対応策」としました。



- ・ 学校が地域コミュニティーの中心となっていくには、地域の皆様が関わっていけるネットワークが 必要だ。学校任せではいけない。
- 子どもの成長や地域の発展のために、保護者や地域の人々がそれぞれできることを考えていく必要がある。

などの御意見が出ました。具体的な進め方についての御意見もいただいています。今後も学校運営協議会で学校運営の基本方針を説明させていただき、検討を重ねてまいります。そして、随時、学校便りなどでお伝えしていきたいと思います。

■「今日は 14 回も滑ったよ!!」



天候に恵まれ、2月3日(金)、5日(日)は予定どおり全校スキー授業を行うことができました。5日に参観された保護者の皆様には雪を踏み固めることをしなくて済み、Tバーが設置され、バギー車で整備されたゲレンデを初めて見る方が多かったのではないかと思います。

子どもたちは約2時間、存分に滑ることができました。低学年の グループは疲れてしまい後半は大型ソリで雪を楽しむ活動としま した。プルークボーゲンができるグループはTバーを使います。そ

の中には「14回も滑ったよ!!」ととっても喜んでいる声を聞きました。子どもたちの振り返りには、「自分で止まれるようになって嬉しい」「初めてプルークボーゲンが出来て、そのまま上から下まで滑れた」「もっとやりたい!」という技能の上達を喜ぶ声が多かったです。

PTA保体部の方々をはじめ、多くのボランティアや三条スキークラブの皆様から御協力をいただき、大勢の子どもが満足感や達成感を得られるスキー学習ができました。心より、感謝申し上げます。